

数値目標

高度医療機器の稼働状況 (延べ患者数)	単位	【参考】				R2 目標	R2 実績	法人の自己評価				知事評価			
		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績			達成度	通常の 評価	再評価	再評価の理由	再評価の理由を 踏まえた目標	達成 度	評価 (案)	
大阪はびきの医療センター アンギオ	人	279	296	281	213	268	175	65.3%	Ⅱ (2点)	Ⅲ (3点)	新型コロナウイルス感染症の対応によって、一般診療が縮小したことに伴い、目標は未達成となったものの、病院を挙げて、府内でも最大規模のコロナ患者の受入れを行いつつ、できる限りの取組みを行ってきたことから、自己評価はⅢ評価(年度計画を順調に実施している場合)として判断した。	非コロナ病床数比率 78.2%で目標割戻し	210	83%	2点

重点取組項目

大阪はびきの医療センター	達成基準	R2 目標	R2 実績	法人の自己評価				知事評価					
				達成度	通常の 評価	再評価	再評価の理由	重点取組項目の評価	再評価の理由を 踏まえた目標	達成 度	評価 (案)		
呼吸器疾患治療における併存症と、地域の医療ニーズに対応し、また経営の安定を図るために、循環器や消化器領域の診療機能を充実させる。	循環器内科入院患者数 【参考】R1 見込:9.8人/日	13.0人/日	11.2人/日	86.2%	Ⅱ	Ⅲ	大阪府の要請を受け、一般病床の一部をコロナ専用病床として運用するため、入院患者の受け皿となる病床を縮小せざるを得なかったこと等に伴い、目標を下回った。特に、腫瘍疾患患者が大部分を占める消化器内科・消化器外科においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、がん検診の受診者が減少した影響が大きかった。  目標は未達成となったものの、項目1に記載している理由同様、病院を挙げて、府内でも最大規模のコロナ患者の受入れを行いつつ、対象患者者に対しては、適切に治療を実施してきたものであり、自己評価としてはⅢ評価(年度計画を順調に実施している場合)として判断した。	達成基準が全てⅢ評価とからⅢ評価(3点)  →重点取組項目であるため、一段高い評価→	Ⅳ (4点)	非コロナ病床数比率 78.2%で目標割戻し	10.2	110%	3点
	消化器内科入院患者数 【参考】R1 見込:3.3人/日	4.0人/日	2.2人/日	55.0%	Ⅱ	Ⅲ				非コロナ病床数比率 78.2%及びがん検診の減少割合 72.6%(R1 診療科における腫瘍疾患患者割合 80%)で目標割戻し	2.4	92%	
	消化器外科入院患者数 【参考】R1 見込:5.0人/日	8.0人/日	4.9人/日	61.3%	Ⅱ	Ⅲ				非コロナ病床数比率 78.2%及びがん検診の減少割合 72.6%(R1 診療科における腫瘍疾患患者割合 72%)で目標割戻し	5.0	98%	